



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年8月4日

上場会社名 森下仁丹株式会社

(コード番号：4524 東証・大証第2部)

(URL <http://www.jintan.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

相原 之壽

責任者役職・氏名 代表取締役専務

駒村 純一

(TEL：(06)6761-1131)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 影響額が僅少なものについて、一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期第1四半期	2,006 (△14.6)	△403 (—)	△431 (—)	△439 (—)
18年3月期第1四半期	2,350 (△10.2)	— (—)	— (—)	— (—)
(参考) 18年3月期	9,812	△729	△988	△189

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	△21 24	— —
18年3月期第1四半期	— —	— —
(参考) 18年3月期	△9 15	— —

(注) 1. 第1四半期財務・業績の概況は当期より作成しておりますので、前年第1四半期実績及び増減率については売上高のみ記載しています。

2. ()内のパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国の経済は企業収益が引き続き高水準で推移し、個人消費も増加するなど回復基調にありましたが、当社の主力事業の一つである健康食品業界は昨年来からの異業種の大手企業の進出が相次ぎ競合激化の厳しい環境になりました。

このような状況の中で、当社グループは中期計画に沿った収益性の高い事業構造の転換を目指し、歴史のある生薬技術を活かした高付加価値商品の開発とブランド重視の販売戦略を推進するとともに生産効率の向上およびコストダウンの徹底に取り組みました。

特に、健康食品の通販事業の主力商品である「緑茶青汁」を、有機素材にこだわると同時にお客様のお求めやすい価格設定にした「有機緑茶青汁」として5月末より新発売いたしました。商品の切り替えに当初予想以上の時間が掛かったこと、ならびに「ビフィーナ」の拡販に向けた小包装の「お試しセット」(単価500円ならびに単価980円)の販売に注力したこともあり、グループ売上高は前年同期を下回る結果となりました。

但し、カプセル受託事業ならびに国内小売店向事業はほぼ計画通りに進捗しております。

なお、当社グループの収益構造は、カプセル受託事業が海外取引先の事業年度の影響を受けることなどから従前より下半期に偏る傾向があり、当第1四半期の赤字についてはほぼ想定内のものです。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	9,076	3,944	43.5	190 55
18年3月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考) 18年3月期	9,698	4,392	45.3	212 21

(注) 第1四半期財務・業績の概況は当期より作成しておりますので、前年第1四半期の実績については記載しておりません。

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△167	△9	△77	925
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	539	1,219	△1,177	1,180

(注) 第1四半期財務・業績の概況は当期より作成しておりますので、前年第1四半期の実績については記載しておりません。

## [財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態については、前述の「有機緑茶青汁」、複合マルチタイプのサプリメントである「ニュートラルボディ」などの新製品による在庫の増加、売上の減少に伴う受取債権の減少および約定返済による長期借入金を除いては前連結会計年度末と比べて大幅な変動はありません。

なお、連結キャッシュ・フローの状況ですが、税金等調整前四半期純損失が売上債権の減少によりカバーされ営業活動によるキャッシュ・フローが167百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローが約定による長期借入金の返済等により77百万円のマイナスとなり、結果として当第1四半期末における現金および現金同等物が前連結会計年度末と比較して254百万円減少しております。

## ○添付資料

要約四半期連結貸借対照表、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書、  
以 上

## [参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	4,950	△405	△420
通期	11,300	80	50

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 2円42銭

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の実績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## [業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月期の連結業績予想につきましては、平成18年5月23日付公表の当初予想に変更はありません。

# 1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当第1四半期 連結会計期末 (平成18年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	925		1,180	
2. 受取手形及び売掛金	1,272		1,583	
3. たな卸資産	1,925		1,868	
4. 繰延税金資産	4		5	
5. その他	112		141	
貸倒引当金	△7		△10	
流動資産合計	4,233	46.6	4,768	49.2
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	1,949		1,977	
(2) 機械装置及び運搬具	1,047		1,086	
(3) 土地	804		804	
(4) 建設仮勘定	2		1	
(5) その他	104		102	
有形固定資産合計	3,908	43.1	3,974	40.9
2. 無形固定資産				
その他	98		104	
無形固定資産合計	98	1.1	104	1.1
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	647		656	
(2) 長期貸付金	60		59	
(3) その他	127		134	
投資その他の資産合計	834	9.2	851	8.8
固定資産合計	4,842	53.4	4,930	50.8
資産合計	9,076	100.0	9,698	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	当第1四半期 連結会計期間末 (平成18年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	1,278		1,269	
2. 短期借入金	1,447		1,482	
3. 未払法人税等	11		26	
4. 未払費用	523		637	
5. 賞与引当金	139		91	
6. 返品調整引当金	25		25	
7. その他	72		90	
流動負債合計	3,497	38.5	3,623	37.4
II 固定負債				
1. 長期借入金	1,045		1,087	
2. 繰延税金負債	75		80	
3. 退職給付引当金	512		511	
4. 預り保証金	0		2	
固定負債合計	1,634	18.0	1,683	17.3
負債合計	5,132	56.5	5,306	54.7
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	—	—	—
(資本の部)				
I 資本金	3,537		3,537	
II 資本剰余金	963		963	
III 利益剰余金	△672		△232	
IV その他有価証券 評価差額金	169		178	
V 自己株式	△54		△54	
資本合計	3,944	43.5	4,392	45.3
負債・少数株主持分 及び資本合計	9,076	100.0	9,698	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当第1四半期 連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	2,006	100.0	9,812	100.0
II 売上原価	1,109	55.3	5,106	52.0
売上総利益	897	44.7	4,705	48.0
III 販売費及び一般管理費	1,300	64.8	5,435	55.4
営業損失	403	△20.1	729	△7.4
IV 営業外収益				
1. 受取利息及び配当金	1		13	
2. 持分法による投資利益	3		7	
3. その他	5		10	
営業外収益合計	10	0.5	31	0.3
V 営業外費用				
1. 支払利息	12		95	
2. その他	25		194	
営業外費用合計	38	1.9	290	3.0
経常損失	431	△21.5	988	△10.1
VI 特別利益				
1. 固定資産売却益	—		701	
2. 投資有価証券売却益	—		587	
3. その他	0		33	
特別利益合計	0	0.0	1,322	13.5
VII 特別損失				
1. 固定資産処分損	1		53	
2. 構造改革損	—		361	
3. 会員権評価損	—		41	
4. その他	0		49	
特別損失合計	1	0.1	506	5.2
税金等調整前 四半期(当期)純損失	432	△21.6	173	△1.8
法人税、住民税及び 事業税	6		21	
法人税等調整額	0		△5	
四半期(当期)純損失	439	△21.9	189	△1.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期(当期)純損失	△432	△173
減価償却費	94	420
引当金の増加額(△減少額)	46	△114
受取利息及び受取配当金	△1	△13
支払利息	12	95
持分法による投資利益	△3	△7
投資有価証券売却益	—	△587
固定資産売却益	—	△701
固定資産売却損・処分損	1	53
構造改革損	—	361
売上債権の減少額	311	1,793
たな卸資産の増加額	△57	△95
仕入債務の増加額(△減少額)	8	△560
その他	△123	154
小計	△142	625
利息及び配当金の受取額	3	14
利息の支払額	△7	△90
法人税等の支払額	△20	△10
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167	539
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1	△66
投資有価証券の売却による収入	—	973
有形固定資産の取得による支出	△12	△511
有形固定資産の売却による収入	—	777
長期前払費用による支出	△0	△17
定期預金の払戻による収入	—	25
その他	4	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9	1,219
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の減少額	—	△650
長期借入れによる収入	—	550
長期借入金の返済による支出	△77	△1,075
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77	△1,177
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	△254	581
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,180	598
<b>VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高</b>	925	1,180

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。